



中央農業高校 校長室だより 特集号

－ 命はぐくむ学びの風景 －

神奈川県立中央農業高等学校 校長 岩崎秀太

修学旅行を実施 ～仲間と学び、地域とふれあった4日間～

9月8日から11日まで、3年生の修学旅行を実施しました。行き先は和歌山県・大阪府方面です。天候による一部予定変更もありましたが、生徒たちは4日間を通して元気に行動し、多くの体験と学びを得ることができました。



【1日目】和歌山へ 日置川地区で民泊

初日は、新横浜駅から修学旅行専用の「のぞみ号」に乗車し、新大阪駅へ向かいました。出発時には雨が心配されましたが、何とか天候も持ち、欠席者もなく全員そろって元気に出発することができました。

新大阪到着後は観光バスに乗り換え、和歌山県南紀白浜の日置川地区へ向かいました。現地では旧田野井小学校で入村式を行い、ホストファミリーの皆さんに温かく迎えていただきました。

その後、生徒たちはそれぞれの家庭に分かれ、料理づくりなどの体験や、地域の方々との交流を行いました。普段の学校生活とは異なる環境の中で、地域の暮らしや人の温かさに触れる、貴重な時間となりました。

新大阪駅へ向かいました。出発時には雨が心配さ



【2日目】別れを惜しみ、和歌山ならではの体験へ

2日目は、前日に入村式を行った旧田野井小学校で離村式を行いました。

ホストファミリーの皆さんからは、「生徒たちは元気がよく、礼儀正しかった」と温かいお言葉をいただきました。別れの時間には、何度も手を振ったり、名残惜しそうに言葉を交わしたりする生徒たちの姿が見られました。

最後には、生徒とホストファミリーの皆さん全員で記念写真を撮影しました。短い時間ではありましたが、心の通った交流となったことが伝わってくる一枚となりました。



その後は「とれとれ市場」へ移動し、マグロの解体ショーを見学しました。昼食では、マグロの刺身、鉄火丼、握り寿司などを存分に味わい、生徒たちは大喜びでした。

午後は、それぞれが希望した体験活動を行いました。前日に南紀州方面で警報級の雨が降った地域があったため、安全面を考慮して一部の内容を変更しましたが、シュノーケリング、藍染め、梅干し作り、竹細工作り、梅ジャム作り、風鈴作りなど、和歌山ならではの多彩な体験を楽しむことができました。



夕食は大阪市内の高層ビル42階にあるワールドビュッフェでとりました。窓から大阪の美しい夜景を一望しながらの食事は、生徒たちにとって忘れられない思い出になったことと思います。その後、ホテル近鉄ユニバーサル・シティへ移動し、2日目を終えました。



【3日目】ユニバーサル・スタジオ・ジャパンを満喫

3日目は、終日ユニバーサル・スタジオ・ジャパンでの班別自主行動でした。

朝、ホテルで朝食をとった後、それぞれの班に分かれて入場。生徒たちは事前に立てた計画をもとに、アトラクションを楽しんだり、ショーやパレードを見たり、食事や買い物を楽しんだり、思い思いの時間を過ごしました。午後2時過ぎからは雨が降り始めましたが、それまでは晴天にも恵まれ、生徒たちは一日を存分に楽しむことができました。

夕方には全員が元気にホテルへ戻り、たくさんのお土産を抱えた生徒たちの表情からも、充実した一日だったことが伝わってきました。仲間と一緒に行動し、時間やルールを守りながら楽しむことも、修学旅行ならではの大切な学びです。



【4日目】海遊館で学び、大阪の街へ

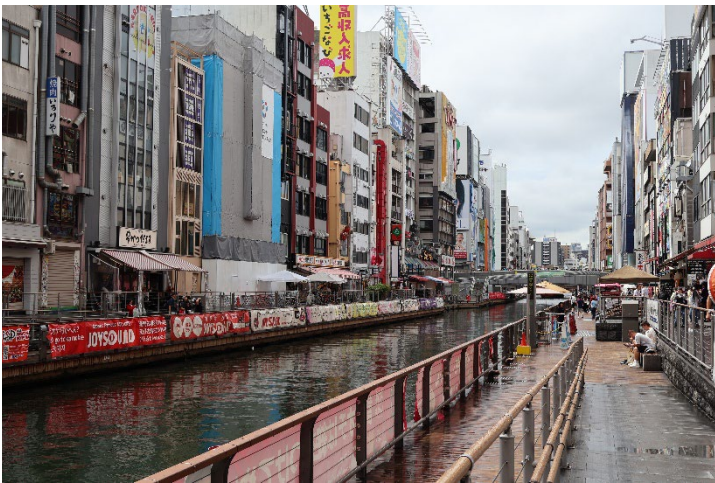
最終日は、ホテルを出発し、まず海遊館を訪れました。

館内ではさまざまな海の生き物を見学するとともに、「海遊館アカデミー」として、実際に飼育を担当している職員の方から飼育係の仕事についてお話を伺いました。

生き物の健康管理や日々の世話、飼育上の工夫など、通常の見学だけでは知ることのできない内容に、生徒たちは興味深く耳を傾けていました。本校も日頃から動物や植物など「命」と向き合う学習を行っています。そうした意味でも、仕事として生き物と向き合う方のお話を直接聞くことは、大変意義のある学びとなりました。



その後は道頓堀へ移動し、最後の班別行動を行いました。大阪ならではの食文化を楽しんだり、お土産を購入したりしながら、修学旅行最後の時間を過ごしました。各班で新大阪駅まで移動し、全員が無事に集合。16時発の「のぞみ号」に乗車し、神奈川への帰路につきました。



【4日間を終えて】

今回の修学旅行では、民泊での地域交流、和歌山ならではの体験活動、USJでの班別行動、海遊館での職業に関する学びなど、さまざまな経験を行うことができました。予定どおりにいかない場面もありましたが、生徒たちはその都度状況を受け止め、仲間と協力しながら前向きに行動していました。その姿に、日頃の学校生活で身に付けてきた力が表れていたように感じます。何よりうれしかったのは、4日間を通して生徒たちが元気に、笑顔で過ごしてくれたことです。

この修学旅行で得た経験や仲間との思い出が、これからの学校生活、そしてその先の人生の中でも大切な財産になってくれることを願っています。今回の修学旅行を支えてくださったホストファミリーの皆様、各施設の皆様、旅行関係者の皆様、そして出発までさまざまな準備をしていただいた保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。